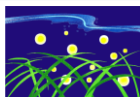




令和7年度 学校だより

天王丘



令和7年6月19日(木)

第 6 号

観音寺市立栞田小学校
発行

長
子
配
付

栞田小の絆を深めた「全校なかよし遊び」

梅雨の晴れ間に、子どもたちの笑顔が空に映えた—そんな特別な日が、6月のある昼休みに訪れました。児童会主催の「全校なかよし遊び～走って、投げて入れまくれ！ランニング玉入れ～」が、ついに実現したのです。

この行事は、本来5月末に予定されていましたが、梅雨の到来とともに何度も延期に。子どもたちの楽しみにしていた気持ちが高まる一方で、実施のタイミングを慎重に見極めてきました。当日も、朝から強い日差しが照りつける中、開催を迷うほどの暑さでした。ところが開始直前、まるで子どもたちの思いに答えるかのように、空には雲がかかり、心地よい風が吹き抜けたのです。



「走って、投げて入れまくれ！」の名の通り、

色別に分かれ、6年生が「動くかご」を背負ってグラウンドを駆け回りました。下級生たちは、自分の色のかごを追って全力で走り、玉を投げ入れます。走って逃げる6年生、笑顔と汗をきらめかせながら追いかける仲間たち。校庭には、学年を超えた熱い絆が広がっていました。

競技が終わったあと、6年生が率先して後片付けを始めると、5年生の児童も「手伝います！」と声をかけ、自ら行動する姿がありました。誰かに言われたからではなく、自然とわき上がった思い—それが形となって表れた瞬間でした。こうした「思いやりのバトン」こそ、栞田小学校の誇るべき伝統であり、子どもたちの心の成長の証だと感じています。

この日の青空と笑顔、響き渡る応援の声は、子どもたちの心にきっと残ることでしょう。そして、それをいつも支えてくださっている保護者の皆様、地域の皆様に、心から感謝申し上げます。

これからも、栞田小学校では「心と心がつながる」教育を大切に、子どもたちの確かな成長を見守ってまいります。

心が動く、学びが動く～対話ドリルに込めた思い～



本校では、今年度も「対話ドリル」に全校生で取り組んでいます。第1ステップでは、写真や資料から分かること、気づいたことをワークシートに記入し、お互いの意見を交流し合います。子どもたちは友だちの言葉に耳を傾け、自分にはなかった視点や気づきを発見していきます。授業の最後には、教師がその日の「キラリと光る意見」を選び、みんなで共有します。子どもたちの表情には、「伝わった!」「なるほど!」という学びの喜びがあふれています。

1回目の実施前には、今年新しく本校に赴任した先生方を対象に「対話ドリル体験会」を行いました。ねらいや進め方を全員で共有し、教師自身も学び合いながら取り組んでいます。先生方の学びがあるからこそ、子どもたちの学びもより深まっています。

子どもたちは、聞く力、考える力、伝える力を少しずつ身につけながら、毎時間の授業の中で確かな成長を見せています。これからも、子どもたちの思考と表現を引き出す学びを、全校で大切にしていきたいと思っています。

